

1. 被災地の現状・課題

4月18日(月)、熊本県大津町役場に到着した際、役場は耐震性がなく倒壊の危険があり使用できる状態でなかったため、災害対策本部は、別棟電算室の3Fに設置されていた。混乱する中、災害対策業務の強化や行政サービスの再開が課題であった。

まず、総務部長に被害の現状、町のリクエスト等を改めて伺ったところ、「人員が足りない。避難所の運営に人を割いている状況で、このままでは必要な行政サービス業務ができない。県への応援要請などは、未だ具体的な話できていない。」との話があり、「人員不足」の実態が浮き彫りであった。

支援を行うことによって行政機能の回復も進み、4月25日(月)に、役場近くの町民交流施設に役場機能の一部を移転し、行政サービスを本格的に再開することができ、また、7月17日(日)には、建設した仮庁舎に引越し、現在は復旧・復興が強力に進められている。

町職員の多くも被災しており、大規模災害に対応する余裕がないこともあり、他自治体からの支援は必ず必要になる。しかし、派遣職員をどこに配置し、活用するかは十分検討しなければならない課題であり、避難所運営や災害廃棄物仮置き場の支援等の業務については、発災当初は派遣職員が従事することがあっても、軌道にのった時点で民間委託に切り替えるべきと考え、助言なども行ってきた。支援を通じて対応マニュアルの整備や日ごろから訓練を実施する等、対応できる環境を整えておくことの大切さを改めて実感した。

●大津町の被災状況 ※〔H28.11.29付け熊本県報告第197報より〕

人的被害	死者	3人
	重症者	10人
	軽症者	9人
住家被害	全壊	127棟
	半壊	1,051棟
	一部損壊	2,820棟
非住家	公共建物	1棟

●住宅被害に伴うり災証明書の交付受付件数等の状況 (H28.11.28までの累計処理件数)

被害認定調査						り災証明書交付件数 (G=①+②+③+④)				無被害の件数 (H)	備考	
一次調査		二次調査		再調査		証明書交付総数 (G)	全壊 ①	大規模半壊 ②	半壊 ③			一部損壊 ④
依頼件数 (A)	実施件数 (B)	依頼件数 (C)	実施件数 (D)	依頼件数 (E)	実施件数 (F)							
5,097	5,088	1,252	1,226	0	0	5,088	164	252	1,255	3,417	0	

※〔H28.11.29付け熊本県報告第197報より〕